

## 人権教室教材一覧（小学校用）

### 小学生3，4年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	備考
1	B-9	友情, 信頼	いじめ	<u>プレゼント</u>	45分	冊子掲載
2	B-6	親切, 思いやり	いじめ	<u>勇気のお守り</u>	45分	冊子掲載
3	B-6	親切, 思いやり	人権一般	<u>ひとつのことば</u>	45分	冊子掲載
4	A-4	個性の伸長	偏見, 差別的取扱い	<u>名前…それは燃えるいのち</u>	45分	冊子掲載
5	B-6	親切, 思いやり	人権一般	<u>人権かるた</u>	45分	冊子掲載
6	B-6	親切, 思いやり	いじめ	<u>「負けるな！千太」-さよならいじめ虫-</u>	45分	
7	B-6	親切, 思いやり	いじめ	<u>クラスメイト</u>	45分	
8	B-6	親切, 思いやり	高齢者	<u>子どもたちの笑顔で</u>	45分	
9	C-17	国際理解, 国際親善	外国人差別・偏見	<u>外国人と人権～違いを認め、共に生きる～</u>	45分	
10	B-9	友情, 信頼	人権一般	<u>一つの押し花</u>	45分	
11	B-6	親切, 思いやり	いじめ	<u>心のきず</u>	45分	
12	B-10	相互理解, 寛容	性的指向・性自認	<u>はじめて学ぶLGBTs ①男らしい色？女らしい色？</u>	45分	
13	B-6	親切, 思いやり	人権一般	<u>勇気あるホタルととべないホタル</u>	45分	

番号	1030103004	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	プレゼント	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (または, 椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」という行為を例に, 登場人物それぞれの気持ちを考えることを通して, 他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養う</li> <li>・正しい行動をとることの難しさや大切さに気づき, 人間の弱さを克服しようとする態度を育む</li> </ul>		
教材の 内容	<p>小学4年生の綾香は美由紀への誕生日プレゼントをきっかけに, 美由紀たちからいじめられるようになる。美由紀にいじめられるようになってから, それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり, やがてクラス中から仲間はずれにされるようになった。ただひとり, 同じようにクラスで仲間はずれにされている麻里だけは綾香をかばったが, ある出来事がきっかけで, 綾香は学校を休んでしまう。そんな矢先, 美由紀が誕生日に父親からプレゼントされた子犬のコロがいなくなってしまう。美由紀にいじめられた綾香は, コロを探すことを悩むが, いじめをいじめで返したらいじめはなくならないと思い, コロを探すことに決める。</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「プレゼント」, ワークシート          使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), 黒板 (ホワイトボード), 質問カード, SOSミコレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマ（いじめ）について、話の概要</li> </ol>	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「プレゼント」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちや行動を考えるために，下記のような発問をし，いじめをなくすにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾香さんはなぜ美由紀さんに仲間外れにされたのでしょうか？</li> <li>・仲間外れはいじめでしょうか？</li> <li>・もしみなさんが綾香さんだとしたらどんな気持ちでしょう？</li> <li>・綾香さんのところに行った麻里さんの心の中はどんな気持ちだったのでしょうか？</li> <li>・コロがいなくなった美由紀さんの心の中はどんな気持ちだったのかな？</li> <li>・仲間外れにされていたのになぜ一緒に探し始めたのでしょうか？</li> <li>・みんなで協力してコロを一生懸命探しました。コロが見つかった時のみんなの気持ちはどうだったのでしょうか？</li> <li>・綾香さんに「ごめんなさい」と謝った時の美由紀さんはどんな気持ちだったのでしょうか？</li> </ul> <p>※板書作業を並行して行う。</p>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 (本日考えたことを踏まえて)</li> <li>・ いじめのない学校やクラスにするには</li> <li>・ やさしさや思いやりの気持ちについて</li> <li>・ もしいじめに直面したら</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「子どもの人権 110番」, 「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030203023	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生	
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ	
タイトル	勇気のお守り		難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	教室型			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が大切な存在であり、お互いを思いやることがいじめの解決へつながることを認識する</li> <li>・悩み事は一人で抱え込まず、誰かに相談することの大切さを理解する</li> </ul>			
教材の 内容	<p>転校生の林太郎に対し、早速あだ名を付けるクラスメイト。そんな中、「人権について考えよう」をテーマにクラスで人権教室が行われ、子どもたちに「人権擁護委員」と「子どもの人権SOSミニレター」の存在を教える。ある日、いじめのきっかけとなる事件が起きる。ささいなことで子どもたちは敏感に反応し、様々な行動を起こす。しかし、SOSミニレターに勇気をもらい、自分の気持ちを素直に伝えられるようになった林太郎。クラスメイトと共に音楽発表会に望む。みんなが笑顔で終わるエンディング。</p> <p>(タイトルの「お守り」は、林太郎がお母さんからもらった「お守り」と人権擁護委員からの「SOSミニレターの返事」のことを指す。)</p>			
備考	<p>使用教材：DVD「勇気のお守り」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点	
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について、話の概要		
	16分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「勇気のお守り」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。		
	展開	10分	内容の振り返り① (意見交換)	登場人物の気持ちや行動に対しての自分の意見や考えを発表してもらう。  〈話し合い例〉 ・いじめられている人（林太郎）の気持ちを考える。 ・いじている人（翔）の気持ちを考える ・まわりの人（優子，洋平，未唯）の気持ちを考える  ※板書作業を並行して行う。	
		3分	内容の振り返り② (意見交換)	先生，家族，人権擁護委員など，大人に相談することについての自分の意見や考えを発表してもらう。 (林太郎の行動の変化について)	
		8分	内容の振り返り③ (記入・発表)	いじめをなくすためにはどうしたらよいか，自分の考えをワークシートに記入してもらい，何名かの生徒に発表してもらう。	
まとめ	4分	本日のまとめ	◆「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 友だち，先生，お家の人に相談できない悩み事があったときは，人権擁護委員にも相談することを紹介する。		

番号	1030103005	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	ひとつのことば	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	よりよい人間関係を築くために, 誰に対しても言葉を大切に, 心から思いやり, 支え合い, 助け合っ て生活していこうとする気持ちを育てる。		
教材の 内容	「ひとつのことば」北原白秋  ひとつのことばで けんかして ひとつのことばで なかなかおり ひとつのことばで 頭が下がり ひとつのことばで 心が痛む ひとつのことばで 楽しく笑い ひとつのことばで 泣かされる  ひとつのことばは それぞれに ひとつの心を もっている  きれいなことばは きれいな心 やさしいことばは やさしい心  ひとつのことばを大切に ひとつのことばを美しく		
備考	使用教材: 詩「ひとつのことば」(北原白秋), ワークシート		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（よりよい人間関係を築く）について</p>	
展開	10分	詩の朗読	<p>詩「ひとつのことば」を配布し、全員で朗読する。</p> <p>詩に対する思考を深めるために、下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までにこの詩のような体験をしたことはありますか？</li> <li>・その時、どのような気持ちでしたか？</li> </ul>	
	3分	内容の振り返り① (記入)	<p>ワークシートを配布し、詩「ひとつのことば」を読んで考えたことや思ったこと、これから心がけたいと思ったことなど、感想を記入させる。</p> <p>※グループを巡回し、助言を与えながら発表者を選定する。</p>	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、『みんなが明るい気持ちで生活するためには、どのようなことに気をつけたいか』をテーマに話し合う。</p>	
	10分	内容の振り返り③ (発表)	<p>各グループの代表者にグループで出た意見を発表してもらう。</p> <p>発表者の意見を大切にして、友達を想うところが育つ雰囲気を作る</p> <p>※発表をしやすい雰囲気をつくり、他の生徒の意見を受け入れるところを育てる。</p>	
まとめ	2分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・言葉の大切さ、言葉にはどんな力があるか</li> </ul>	

番号	1030503094	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	名前・・・それは燃えるいのち	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人違った個性をもっていて, 尊厳があるということを理解する。</li> <li>・違いを受け入れられるようにする。</li> <li>・言われた相手のことを考え, 変なあだ名で呼ばないようにする。</li> </ul>		
教材の 内容	<p>4年3組の新しい担任になったのは, 姜明子(カンミンジャ)先生でした。元気いっぱいクラスのなかで, よりかと平吉は宿命のケンカ友だち。名前の中でケンカになったよりかと平吉に, 姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて, みんなの前で発表してください」</p> <p>翌日, みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。両親の深い愛情に気付いた, よりか。ブラジルに移住した祖父を誇りに思う, 平吉。そして姜先生にも, 自分の名前への深い思いがありました。民族名を隠し, 「あきこ」と名乗っていた中学生の頃, 姜先生が出会ったのは, ゴタイゴの「ビューティフル・ネーム」でした・・・</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「名前・・・それは燃えるいのち」, ワークシート</p> <p>使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー(またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), SOSミニレター</p>		



過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマ（個性，違いの尊重）について</li> </ol>	
展開	18分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「名前・・・それは燃えるいのち」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	12分	内容の振り返り① (発表)	<p>登場人物の気持ちを考えさせ，理解を深めるために，下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バチ子や太っているということの意味するあだ名で呼ばれたとき，呼ばれた人の気持ちはどうだったでしょう。</li> <li>・姜明子先生がゴダイゴの歌を聴いて，自分の名前を日本語読みから元々の朝鮮の読み方に変えたのはどうしてですか。</li> </ul>	
	5分	内容の振り返り② (記入)	<p>ワークシートを配布し，各自の考えを記入してもらおう。</p> <p>〈ワークシート内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの名前の由来や名前に対する思いの説明を聞いてどう思いますか。</li> <li>・今日の授業で感じたこと</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・ 名前にはそれができた由来があり，大切なものである</li> <li>・ 自分や他人の個性を理解し，互いに尊重し合う大切さ</li> <li>・ 人を傷つけるような発言やいじめをしない，許さない学級づくり</li> <li>◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030103036	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	人権かるた	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	椅子なし型		
ねらい	かるた取りを楽しんだ後に、自分が選んだ読み札の文章の内容について考えさせることにより、思いやりの心や優しい心に気づかせ、人権を尊重することの大切さを学ばせる。		
教材の 内容	6名程度のグループに分かれ、人権に関する内容のかるたを使用し、かるた取りをする。 かるた取りが終わった後、自分が取った札の読み札とともに、文章に関する感想を発表してもらう。  読み札：取り札の絵の内容を書いた短い文章が書かれている。 取り札：読み札の内容を描いた絵と、読み札の文言の頭文字がひらがなで大きく書かれている。  ※人権かるたの内容について考えることを目的なので、通常のかるた遊びとはルールが違います。		
備考	使用教材：人権かるた（読み札、取り札）、読み札一覧表		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマについて</li> </ol>	
展開	5分	人権かるたルール説明	<p>人権かるた（かるた取り）のルールを説明した後、6人程度のグループに分かれ、円になって座り、取り札を中央に並べさせる（並べ方は自由）。</p>	
	15分	人権かるた	<p>グループ内でかるた取りで遊んでもらう。</p> <p>〈人権かるたルール〉  講師が読み札を読む。講師は「あ」～「ん」で始まる文章が書いてある読み札を持っているが、実際に読み上げるのは半分のみ。  勝負ではなく、読み札の文章の内容（人権に関する）を理解してもらうことが目的なので、講師が文章を全て読み終わってから取り始めてもらう。  また、全員が必ず1枚は取れるように、グループ内の全員が1枚取るまで、既に取った児童には待ってもらい、全員が取り終わった後に自由に取り始めてもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>読み札の文章の一覧表を全員に配り、自分が取った札の読み札（複数取った児童はどれか一つ）とともに、文章に関する感想を発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・ 相手を思いやる気持ちや優しい気持ちが「人権の尊重」である</li> <li>・ 「人権」は人間が人間らしく生きる権利で、お互いのことを大切にすることが大切</li> <li>・ 日常の小さな行動が大切</li> </ul>	

番号	1030203096	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	「負けるな！千太」 -さよならいじめ虫-	難易度	中級
時間	4 5分	対象人数 の目安	学級4 0人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをしてしまう弱い心（いじめ虫）に支配されず，他人との違いを認め合い思いやりの心の大切さを学ぶ。</li> <li>・いじめを見て見ぬふりをしたり一緒になってからかうことも，いじているのと同じことであることを気付かせる。</li> <li>・いじめのない学級づくりの実現に努めようとする態度を養う。</li> </ul>		
教材の 内容	<p>千太は昆虫が好きなおとなしい男の子。</p> <p>ある時，いじめグループからクラスメートがいじめられているのを見た千太。担任の先生がいじめを注意したのをきっかけに，先生へ告げ口したのは千太だという噂が広がり，今度は千太がいじめの対象に…。いじめは毎日続きますが，クラスの誰も千太を助けようとはしません。</p> <p>やがて夏休みに入り，千太は公園で響先生と出会います。響先生から，「いじめられて気持ちがぐたびれた時は好きなことを思いっきりするといいよ。」と言われ，千太は大好きな昆虫の本を読むため図書館に通い始めます。図書館や公園に通い始めた千太に新しい友だちができます。そして響先生や仲良くなった友だちと公園で蝉の音楽会を聞く毎日が始まります。</p> <p>登校日の日，ついにいじめグループに言い返す千太。その後のホームルームで千太は作文を読みます。「みんなにも自分にもいじめ虫がいる。しっかりしないといじめ虫だけがどんどん大きくなって，みんなの心を食べてしまう。いじめは誰も得をしない。僕はいじめないよ。だって僕は人間だから。」</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「負ける！千太」</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（または、プロジェクター及びスクリーン），SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（いじめ）について</p>	
展開	24分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「負けるな！千太」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等,担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>物語を通して,いじめはいけないことを認識し,自らの心を見つめ,下記のような発問に対して自分なりの考えや思うことを,何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が千太だったらどうしますか？</li> <li>・自分がいじめっ子だったらどう思いますか？</li> <li>・自分がまわりでいじめを見ている子だったらどうしますか？</li> <li>・いじめ虫は誰の心にもいると思いますか？</li> </ul>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・いじめ虫にならないで,いじめをしない・してはいけないという心の大切さ</li> <li>◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」,「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030203105	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	クラスメイト	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<p>・学校に通う児童にとって「いじめ」は、他人事ではない身近で切実な問題である。</p> <p>・何故いじめが起きるのか、自分たちのクラスでいじめが発生したらどうすればいいのか、いじめをどうやったら止められるのかを考え、話し合うことにより、他人を思いやり、いじめを行わない健全なこころを養っていくことをねらいとする。</p>		
教材の 内容	<p>教育用映像作品DVD「クラスメイト」</p> <p>主人公のただしときみこのクラスでは普段からクラスメイトのさとしがいじめにあっています。クラスのいじめについて、ただしときみこも止めたいと思っても止められませんでした。</p> <p>「いじめを止めたら今度は自分がさとしのようにいじめられるんじゃないか」 「クラスの一人一人はやめさせたいと思っているのにみんな口をつぐんでしまっている」 助けられない後ろめたい気持ちを抱えたまま傍観しかできなかったある日、クラスのリーダー格の男子二人のけんかからクラスはどちらに付くかというグループ分けでまっぶたつになります。</p> <p>クラスメイトの男子二人によるグループ分けの争いにより、クラスは個人の意見をもたない生徒のあつまりになってしまい、ただしときみこはいじめに巻き込まれることになってしまいます。</p> <p>本DVDを視聴し、何故、いじめが起きるのか、どうしたらいじめが起きないのか、どうすればいじめを止められるのかを考える。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「クラスメイト」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（または、プロジェクター及びスクリーン）、SOSモニター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ (いじめ) について</p>	
展開	22分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「クラスメイト」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいらないか確認する。プロジェクターの操作等,担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>グループに分かれ,登場人物の気持ちやいじめについて,ワークシートの設問を通して意見交換し思考を深めてもらい,何名かの生徒に発表してもらおう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスにいじめられている人がいたら,どうやって助けてあげられますか?</li> <li>・いじめをするひとは,どういう気持ちで人をいじめるのでしょうか?</li> <li>・自分たちのクラスを「いじめのないクラス」にするにはどうすればいいでしょうか?</li> </ul>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・ 他人を思いやり,人権意識を持った健全なこころを養う。</li> <li>・ 「いじめを絶対やらない。やらせない。」という気持ちが大切</li> <li>◆ 「子どもの人権110番」,「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030103120	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	子どもたちの笑顔で <small>えがお</small>	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔であいさつをしよう。</li> <li>・思いやりの心の大切さを理解する。</li> </ul>		
教材の 内容	<p>グループホーム「はなしのぶ」で生活するカンナおばあちゃん。とても働き者のおばあちゃんですが、まだ、誰とも話をすることはありません。それに1日経つとホーム内のことも忘れてしまいます。そんなカンナおばあちゃんがある日、突然言葉を返してきました。毎日子どもたちが笑顔で元気にカンナおばあちゃんと触れ合うことで、自然と心を開かせたのです。カンナおばあちゃんの気持ちにどのような変化があったのでしょうか。このことから、思いやりの心の大切さを学んでいきます。</p>		
備考	<p>使用教材：感想を書くメモ用紙（「種をまこう」,「子どもたちの笑顔で」※「種をまこう」はふりがな付きで作成） 使用物品：ホワイトボード,マイク,いす（委員用）</p>		



過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> <li>・読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について</li> <li>(4) 本日のテーマについて</li> <li>・「種をまこう」を朗読する。</li> </ul>	
展開	30分	読み聞かせ・内容の振り返り	<p>「子どもたちの笑顔で」を朗読する。</p> <p>思考を深めるため、以下のような発問をし一緒に考える。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンナおばちゃんは初め、なぜ誰ともお話をしなかったのでしょうか？</li> <li>・みんなだったらカンナおばあちゃんに何て声をかけてあげますか？</li> <li>・カンナおばあちゃんの気持ちにどんな変化があったのでしょうか？</li> </ul> <p>メモ用紙に感想を書き発表してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心について話す。</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <p>「思いやりの心」をもって友達と接することができれば、差別や無視などの「いじめ」は無くなるはず。</p> <p>→「思いやりの心」を持てるようによく考えて行動することが大切</p>	

番号	1080203011	対象年齢層 (学年)	小学生3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	<b>外国人と人権～違いを認め, 共に生きる～</b>	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>•お互いの違いを認め合おう</li> <li>•相手の気持ちを考えられる人になろう</li> </ul>		
教材の 内容	<p>日系ブラジル人のカルロスは、日本語は片言程度しか話すことができない。カルロスは、金属工場で働いているが、言葉が見つからないことで、職場でコミュニケーションをとるのが難しく、仕事もなかなか覚えられない。職場では外国人でからだが大きいというだけで、怖いと思われる。物がなくなった時には、カルロスが疑われてしまう。</p> <p>そんなある日、カルロスの職場の上司が階段から落ちてけがをする。カルロスは、すぐにけがの手当をした。そのことがきっかけで誤解がとけ、カルロスは職場の人たちと仲良くなっていく。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「外国人と人権～違いを認め, 共に生きる～」, ワークシート          使用物品：「人権教室プログラム（外国人の権利）」ラグビーワールドカップ日本代表の写真・メンバー表, 訪日外国人数のグラフ, カード「お互いの違いを認め合う=人権の尊重」, SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> <li>・訪日外国人について</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p> <p>訪日外国人数の増加について等</p>	
展開	10分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる」～「職場で見られる偏見や差別」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り（記入）	<p>ワークシートを配布し，登場人物の確認をしながら，考えたことや思ったこと，これから心がけたいと思ったことなど，感想を記入してもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り（発表）	<p>記入したワークシートの設問を元に何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈設問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清水さんは，カルロスさんのことをどうしてあんなに怒っていたのでしょうか？</li> <li>・加藤さんは，カルロスさんのことをどうしてあんなに怖がっていたのでしょうか？</li> <li>・カルロスさんはどう感じていたのでしょうか？</li> <li>・このDVDを見て，どんなことがわかりましたか？</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・ お互いを理解し，認め合うように努力することが大切</li> <li>◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	
その他				

番号	1030103031	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
----	------------	---------------	-----------

カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	一つの押し花		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	ロールプレイにより登場人物の役を子どもたちに演じてもらい、「自分が相手の立場だったらどうだろうか?」ということを感じさせ、思いやりの心を育む。		
教材の 内容	<p>はるかちゃんは、花の大好きな三年生です。ある日、学級園の草取りをしていて、あやまって花を一本折ってしまいました。その花がかわいそうなので、捨てずに教科書にはさんでいました。そのことをクラスの子に見つかってしまい、みんながはるかちゃんのことを「花とった。」、「花とった。」とはやしたてました。はるかちゃんは、何か言おうとしましたが、声にはなりません。</p> <p>けんちゃんは、それをだまって見ていました。なぜかという、はるかちゃんが毎朝早く学校に来て、学級園の草取りをしているのを知っていたからです。</p> <p>けんちゃんが、家でそのことを話すと、お父さんが「なぜ、みんなに言わなかったの。」と、たずねました。次の日、けんちゃんは、はるかちゃんに「いつも学級園の草取りありがとう。あのとまだまわっていて、ごめんね。」と、あやまりました。</p> <p>はるかちゃんは、うれしくなりました。そして、押し花をけんちゃんにあげました。</p>		
備考	<p>使用教材：冊子「種をまこう」、「一つの押し花」</p> <p>使用物品：登場人物を拡大した絵、折った花、押し花の絵、ワークシートなど</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマについて</li> </ol>	
展開	7分	冊子の朗読	<p>冊子「種をまこう いっしょに読んで考えよう『じんけんってなあに』」の中から「一つの押し花」を朗読。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を深めるため、生徒に登場人物を順番に言ってもらい、登場人物の絵を黒板に貼っていく。</li> <li>・内容を振り返りながら、登場人物がどんなことをしていたか尋ねる。</li> </ul>	
	20分	内容の振り返り①	<p>ロールプレイを通じてそれぞれの登場人物の気持ちを考え、発表してもらう。</p> <p>〈発表例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役を演じた子たち→どんな気持ちだったか</li> <li>・見ていた子どもたち→なぜそうなったのか、どうしてほしかったか</li> </ul>	
	8分	内容の振り返り②	<p>「けんちゃんとはるかちゃんにお手紙を書きましょう」と促し、配布したワークシートに二人に宛てた手紙を書いてもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>書いてもらった手紙を何名かの生徒に発表してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 日頃の生活から相手を思いやることの大切さ</li> <li>◆ 「子どもの人権 110番」の紹介</li> </ul>	

番号	1030203021	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生	
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ	
タイトル	心のきず		難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	①学級40人程度 ②保護者参加型	
学習形態 (教室の設定)	教室型			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心が受けたきずはなかなか消えないことを実体験を通し心の痛みを知る。</li> <li>・自身の手により、ハート型の紙をくしゃくしゃにすることで、いじめを受けた心の状況を確認し、いじめの予防方法を学ぶ。</li> <li>・心が言葉の暴力により、傷つく状況を茶色の水で視覚で確認し、大きく傷つく前の対処法を学ぶ。</li> </ul>			
教材の 内容	<p>ピンクのハート型の紙を自分の心に見立て、傷ついた心の状況を感じる。</p> <p>傷ついた心はどうなるのか、傷ついた心の状況を心の紙をぐしゃぐしゃに潰すことで確認し、しわになった心の紙を伸ばしても、しわは消えないことから、一度傷ついた心は元には戻らないことを視覚を使って体験する。</p> <p>他の人の心を傷つけたら、どうなるか。</p> <p>心に茶色く濁った水が溜まっていき、心が傷つけられていっぱいになり、最後にはあふれ出す様子を茶色の水を利用して表現する。</p> <p>心が茶色い水でいっぱいになる前に、「仲間づくり」をすることを学ぶ。</p> <p>お互いに、相手の心を大事にすることや、仲間になることを確認しあう。</p> <p>すぐそばにたくさんの自分の味方になってくれる人がいることを知る。</p> <p>友達が傷ついていたら、自分も味方になることを確認する。</p>			
備考	<p>使用教材：カード等（副教材）</p> <p>使用物品：ピンクのハート型の紙（人数×2枚分）、透明な大きめの花瓶、水受皿、茶色の水（コーヒーを溶かした水）</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマ（いじめ）について</li> </ol>	
展開	15分	展開①	<p>ピンクのハート型の紙を使用し、見えに心の中を視覚で体験し、心が傷つくということについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンクのハート型の紙を2枚ずつ配る（自分の心に見立てる）</li> <li>・委員の呼びかけにより、自身の手でぐしゃぐしゃにする。</li> <li>・ぐしゃぐしゃに潰し、しわになった心の紙を伸ばす。（しわは消えない）</li> <li>・どんなに頑張っても元のきれいな心にはならないことを学ぶ。</li> </ul>	
	15分	展開②	<p>誰かの心を傷つけると、相手の心がどうなるかについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしも、他の誰かの心を傷つけたとしたら、傷つけられた相手の心の状態がどのようにしていくのか。</li> <li>・心が傷つけられていっぱいいっぱいになる状況を茶色の水を利用して見て感じて学ぶ。</li> </ul> <p>心を傷つけられたら、どうしたらいいか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心が茶色の水でいっぱいいっぱいになる前に「味方探し」ができることを知る。</li> <li>・味方が増えると、心の茶色の水が減っていく様子を体感する。</li> </ul>	
まとめ	10分	本日のまとめ	<p>心を傷つけないために何をすればいいか、必要なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくりすることを学ぶ。</li> <li>・すぐそばに自分を守ってくれるたくさんの方が見方があることを知る。</li> <li>・友達が傷ついていたら、味方になる思いやりの心を持つことの大切さを感じる。</li> </ul> <p>◆本日の内容の総論 自分の心も大切に、相手の心も大切に過ごしていく。</p>	

番号	1150103079	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
----	------------	---------------	-----------

カテゴリ1 (大分類)	性的指向・性自認	カテゴリ2 (小分類)	性的指向・性自認一般	
タイトル	はじめて学ぶLGBTs①男らしい色？女らしい色？		難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	島型 4～6人で一つの机を囲む形。			
ねらい	好きな色を通じて男らしさ・女らしさにとらわれない柔軟な考え方を身につける。			
教材の 内容	赤, 青, 黄色…。文房具屋さんに並んでいる, さまざまな色の色鉛筆たち。彼らはみな, こどもたちが自分を手に取ってくれるのを待っています。たくさんの色の中でも、ピンク色の色鉛筆は大人気。でも、彼には悩みがあって…。			
備考	使用教材：DVD「はじめて学ぶLGBTs①男らしい色？女らしい色？」, ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（または, プロジェクター及びスクリーン）, プログラムシート, SOSミニレター			



過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p>	
展開	12分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「はじめて学ぶLGBTs ①男らしい色？女らしい色？」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいらないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何名かの生徒に感想を発表してもらう。</li> <li>・好きな色・その理由についてなどワークシートに記入してもらう。</li> </ul>	
	10分	内容の振り返り②	<p>発表を通じて考えの異なる他人との関わり合いを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入してもらった，好きな色とその理由を各島から一人ずつ発表してもらう。</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・ 人と違っていいんだ，という自信を持ってもらう。</li> <li>◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030103107	対象年齢層 (学年)	小学校3, 4年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	子ども一般
タイトル	<b>勇気あるホタルととべないホタル</b>	難易度	初級
時間	4 5分	対象人数 の目安	学級30人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描いた物語をから、お互いに楽しく暮らすにはやさしさと思いやりの心が大切であることを認識する。		
教材の 内容	<p>ある夏の夜のことです。</p> <p>小川のほとりにある「ホタルのお宿」から、次々と成長したホタルが飛び立ちました。でも、一匹だけ羽がちぎんで生まれたために飛ぶことが出来ないホタルがいました。</p> <p>そこに、ホタルを取りに来た仲のよい姉と弟が、とべないホタルを捕まえようとしています。「あぶない！」身動きできないホタルをかばって、勇気あるホタルが男の子の手の中に・・・。</p> <p>勇気あるホタルとやさしい子ども達の物語！ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと、思いやりの大切さを描いています。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「勇気あるホタルととべないホタル」</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤーまたは、プロジェクター及びスクリーン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p>	
展開	20分	人権啓発DVD鑑賞 (前半)	<p>DVD「勇気あるホタルととべないホタル」の前半を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p> <p>「やさしさ」について理解してもらうために、下記のような発問をし、話し合う。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とべないホタルは自分一人だけ飛べなくてどんな気持ちだったでしょう？</li> </ul>	
	15分	人権啓発DVD鑑賞 (後半)	<p>DVD「勇気あるホタルととべないホタル」の後半を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p> <p>「思いやりの心」を持つことの必要性を認識してもらうために、下記のような発問をし、話し合う。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気あるホタルが、飛べないホタルの身代わりになったのはどうしてでしょう？</li> </ul>	
まとめ	5分	本日の内容のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと楽しく暮らすには、やさしさが大切</li> <li>・相手の気持ちになって、「思いやりの心」を持つことが重要</li> <li>・困ったときは、ひとりで悩まず誰かに相談する</li> </ul>	